

報道関係各位

2025年7月10日

川田テクノロジーズ株式会社

国立大学法人宇都宮大学

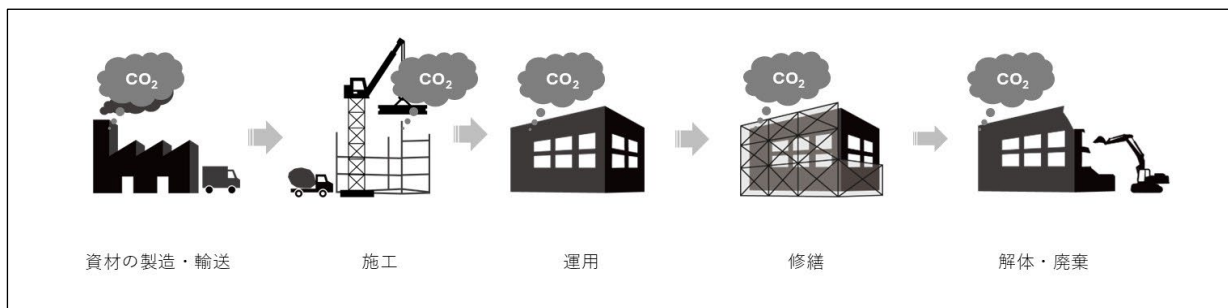
**川田テクノロジーズ、宇都宮大学と
システム建築のホールライフカーボン最適化に関する共同研究契約を締結
～KAWADA Future Lab：サステナブル建築への挑戦～**

川田テクノロジーズ株式会社（東証プライム：3443、東京本社：東京都北区、代表取締役社長：川田忠裕、以下「当社」）は、国立大学法人宇都宮大学 地域デザイン科学部 横尾研究室（担当教員：横尾昇剛）とともに、当社子会社の川田工業が事業展開するシステム建築におけるホールライフカーボン※1の最適化に関する共同研究を2025年4月より開始しました。

本研究においては、ホールライフカーボンを最小化した「サステナブル環境建築モデル※2」を構築し、その実現に向けた課題抽出を行うことで、システム建築におけるカーボンニュートラルの推進に貢献してまいります。

※1 ホールライフカーボン：建物の建設から運用、解体・廃棄までの全ライフサイクルで排出されるCO₂の総量

※2 サステナブル環境建築モデル：環境負荷を最小化したモデルとして当社が定義するもの



システム建築におけるホールライフカーボンのイメージ

【実施の背景】

近年、2050年カーボンニュートラル実現に向けた取り組みが国際的に加速しており、建築業界においても脱炭素化への対応が急務となっております。特に、建物の運用段階のみならず、資材の製造・輸送から、解体・廃棄に至るまでの全ライフサイクルにおけるCO₂排出量（ホールライフカーボン）の削減が重要課題として認識されております。

川田工業のシステム建築におきましても、従来の「低コスト、短工期、高品質」に加え、環境性能の向上が強く求められており、2050年カーボンニュートラルの実現のためには、ライフサイクル全体での環境負荷の最小化は喫緊の課題です。

当社は、企業の社会的責任として「技術による社会課題の解決」と「地球環境への貢献」を重要なマテリアリティと位置付けています。本プロジェクトは、これらのマテリアリティ実現に向けた具体的な取り組みであり、建築分野における脱炭素化や持続可能な社会の実現を目指しています。

【共同研究の概要】

研究テーマ	：サステナブル環境建築モデル構築のための基礎的研究
契約締結日	：2025年4月1日
研究期間	：2025年4月～2026年3月（第1期）
研究代表者	：宇都宮大学地域デザイン科学部 横尾昇剛教授（同学部長、日本建築学会地球環境委員会幹事）
研究目標	：システム建築のホールライフカーボン分析を通じた「サステナブル環境建築モデル」の構築と、実現に向けたロードマップを示す

【研究内容】

1. 過去の施工物件のライフサイクルアセスメント（LCA）と評価手法の確立
 - システム建築に適したLCA評価指標とベンチマーク設定
 - 当社グループの過去施工物件に対するLCA実施・分析
2. 理想モデルの設計・実証
 - 「サステナブル環境建築モデル」の設計・プロトタイプ製作
 - 新材料・新工法の適用可能性検討
3. 実現のためのロードマップ策定
 - 「サステナブル環境建築モデル」実現のための技術課題の抽出
 - 技術課題解決のためのマイルストーン設定

■宇都宮大学 横尾教授プロフィール

横尾 昇剛（よこお のりよし）

宇都宮大学地域デザイン科学部 教授・学部長

早稲田大学理工学部建築学科卒業、早稲田大学理工学研究科建設工学専攻修了、博士（工学）。宇都宮大学大学院工学研究科准教授、カナダブリティッシュ・コロンビア大学客員研究員を経て、現職。研究分野は建築環境工学、都市環境工学。

建築物のライフサイクルCO₂研究に関連し、IEA(国際エネルギー機関) EBC Annex57 Evaluation Embodied Energy and CO₂ for Building Construction(2011.9-2016.10)に参画し、建築物のEmbodied CO₂の評価ガイドライン策定に従事。

社会活動として、日本建築学会地球環境委員会委員長(2023.4-2025.3)、栃木県環境審議会気候変動部会長、2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ評価・検証委員会委員長。空気調和・衛生工学会（技術賞）、建築設備技術者協会 カーボンニュートラル大賞、アジア都市環境学会論文賞。

都市の環境設備計画（森北出版）にて、環境性能評価およびライフサイクルCO₂執筆

【今後の展開】

本共同研究の成果を踏まえ、2026年度以降も研究を発展させ、より高度な環境配慮技術の確立と実用化を目指してまいります。なお、本研究の進捗状況や成果につきましては、重要な進展があり次第、適宜プレスリリースにてご報告いたします。

本共同研究を起点として、システム建築分野における持続可能性を高める技術開発を進め「技術で未来を築く」企業として、次世代に誇れる社会インフラの創造に貢献してまいります。

【プレスに関するお問合せ先】

川田テクノロジーズ株式会社 広報室

電話：03-3915-4609 e-mail：koho@kawada.co.jp

<参考資料>

【川田工業のシステム建築の概要】

川田工業のシステム建築は、「低コスト、短工期、高品質」を実現する建築ソリューションです。計画から設計・施工、アフターサービスまでOneStopでサービスを提供する総合請負形式により設計と施工の整合性を高めています。工場や物流倉庫を中心として多数の施工実績を有しており、近年は危険物倉庫や冷凍冷蔵倉庫などの特殊用途においても強みを発揮しております。

「川田工業のシステム建築」<https://www.sysken-kawada.jp/>

【川田グループ持株会社 川田テクノロジーズ 会社概要】

社名：川田テクノロジーズ株式会社

代表者：代表取締役社長 川田 忠裕

所在地：東京本社 〒114-8563 東京都北区滝野川1-3-11

富山本社 〒939-1593 富山県南砺市苗島4610

URL：<https://www.kawada.jp>

設立：2009年、創業：1922年

資本金：5,311,419,500円

上場証券取引所：東京証券取引所 プライム市場（3443）

従業員数：94名（連結2,376名）

主な事業内容：グループ企業の経営計画・管理並びにそれらに附帯する業務

以上